

学校法人 東京滋慶学園 日本医歯薬専門学校 自己点検・自己評価 評価結果及び改善方法

2021年度自己点検自己評価(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年6月21日作成

大項目	点検・評価項目	自己評価		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1	自己点検・自己評価項目総括 以降			
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 育成 人材 像 (篠田)	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	滋慶学園グループ 日本医歯薬専門学校は、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッション(使命)としている。【建学の理念】の実践を通じて【4つの信頼】を得るとともに、【3つのポリシー】に基づいて入学・在学・卒業まで一貫性ある教育方針を策定・実施することにより、社会で即戦力として活躍できる人材を育成することを目指している。	・建学の理念(実学教育、人間教育、国際教育) ・4つの信頼(学生からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼) ・3つのポリシー(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)	2.8	・教育委員理念に沿って適正に運営している ・コロナ禍において、工夫している ・学園グループという多種異種の専門分野の活用によって総合的視座に立った位置を把握している
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	常に業界等の人材ニーズを把握し、学校・学科商品を進めている。	日本医歯薬専門学校が養成している医療専門職として活躍をめざす学生も近年の社会環境の変化とともに、年齢や性別、ライフスタイルなども多様化している。一人ひとりの学生を卒業、資格取得、就職までをサポートできるよう運営している。		
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	ミッションや理念は教育指導要領、学生便覧に記載されており、研修等で教職員や講師に至るまで周知し、特色ある教育活動が図られている。また、学外に向けては、ホームページや学校パンフレット、オープンキャンパスなどを通じて理解して頂くことに努めている。	文部科学省(中央教育審議会答申)を中心とした、職業観、勤労観を身につけ、「自立や仕事に必要な力の基盤を育てる」取り組みに合わせ、入学前の時期から在学中、さらに卒業後に至るまでの期間をキャリア教育の場と捉え、一貫した内容でのフロー教育を組み立てている。		
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	3	社会の変化に対応していくためにも、キャリア教育の視点を組み込んだプログラムの整備にも着手し、入学前～在学中～卒業後の期間を通じてのフロー教育を実施している。	一部、1年制の学科においては、入学前よりスタートする就職活動スキルを高める特別授業を実施し学科や学生の状況に合わせた取り組みを強化している。		
2 学校 運営 (篠田)	2-2 理念に沿った運営方針を定めているか	3	明文化され定められた運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に会議や研修を通じて周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間を通じて力を入れている。	学校で定めた運営方針・実行方針に基づき、具体的なアクションプランである実行計画を策定するが、その策定に関しては実際の現場担当者が運営方針・実行方針と統合した上で作成している。	3.0	・事業計画にそって的確に運営している ・働き方改革の中で教職員の健康管理等はどうか ・報告によって、確かなチェックや学校全体で運営が適正状態であると感じる
	2-3 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3	運営方針同様、明文化され定められた事業計画を基に、学校運営に関わる全ての人に会議や研修を通じて周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間を通じて力を入れている。	事業計画達成に向けてのチェックはそれぞれの現場の責任者から構成される運営会議により、月1回実施している。		
	2-4 設置法人は学校運営のための組織を整備し、組織運営を適切に行っているか	3	意思決定システムは事業計画に会議として明文化し、確立されている。また、会議は教職員の研修の場でもありと考えている。問題を早期に発見した後の数値分析、仮説、立案、実行、検証の思考サイクルは、様々な業務の場面に役に立てられている。	会議は 1. 法人理事会・評議員会 2. 学校戦略会議 3. 法人学校運営会議 4. 運営会議(学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議) 5. 学校全体会議(決定事項の周知) 6. 学校学科会議・部署会議(部署の問題解決会議) 7. グループ各委員会会議 8. 様々なプロジェクトの会議がある。		
	2-5 人事・給与に関する制度を整備しているか	3	採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、滋慶EAST人事採用センターが中心となり、採用試験を実施している。採用は採用基準のもと、厳正に実施している。また、その後の教職員の育成には、最も力を入れている。そして、目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賃金決定が行われている。	数値目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務も過程を評価できるよう「プロセス評価」を導入している。目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかの視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしている。半期・年度末に目標に対して到達度等をフィードバックし振り返りを実施している。		
	2-6 意思決定システムを整備しているか	3	意思決定に関しては、決定事項の優先順位付けと意思決定を行う機関を明確にしている。また、毎年短期的、中長期的視点に立っての事業計画の策定を行っていることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。	意思決定機能については、それぞれの「会議」がその役割を果たすが、決定事項に関しては「議事録」を残し、学校全体で共有できる仕組みとなっている。また全体会にて全教職員へ決定事項の周知徹底を図っている。		
	2-7 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	3	業務のマニュアル化とシステム化が推進されたこと、グループ内のコンピュータ関連会社の協力により、セクション毎の情報システム化・効率化が推進されている。	学生の教育・就職・学費入金等、学生に関わる情報処理についてはすべて一元化された運営を行っており、学生情報にプレがないようにシステム構築をしている。 人事・予算についても「勤怠管理システム」「予算管理システム」を導入し業務の効率化に努めている。		

3 教育活動 (富田)	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。 各学科の教育目標、育成人材像は、常に業界のニーズを反映させるため、毎年上半期終了時点から業界・学科・競合校の各調査に着手し、それらから業界ニーズを読み取り、確実に応えられる教育目標、育成人材像を設定している。	人材ニーズの変化、業界そのものの変化に伴う学科の養成目的/教育目標の見直し、さらにカリキュラムの再構築に専断的に関わる、授業改善のためのFD推進プロジェクトが組織されており、定期的に会議の中で学科の運営状況をチェックする機能を持っている。職業実践専門課程の認定を受ける際に業界との連携をさらに強化している。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、教育指導要領及び学生便覧に明確に定められている。	教育レベル到達の仕組としてシラバス・コマシラバスの配布および小テストを各科目で実施している。
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	カリキュラムの編成に関しては、養成目的・教育目標を定め、その上で学期ごとの到達目標へと落とし込んでいく。さらに学期目標を達成するために必要な科目を設定することにより適正な編成がなされている。	
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3	卒業生に関しては同窓会、卒業生勉強会、関連業界に関しては担当部署であるキャリアセンターが中心になり、意見聴取を行っている。 また教育課程編成委員会により、各学科に関連する業界関係者(杉並区歯科医師会会長・東京都歯科衛生士会顧問・杉並区眼科医会会長等)からの評価や意見聴取を行っている。	2021年度、教育課程編成委員会を外部委員主体として第1回・6月27日、第2回・1月16日に開催した。
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3	現在実施している様々なプログラムを、キャリア教育の視点を持って体系的に組み直すことで、より効果的なキャリア教育を提供することができている。	学園グループのキャリア教育に対する考え方をまとめた「キャリア教育ロードマップ」を作成し、それに基づきプログラムを構築している。 また学校の取組みとしてプレカレッジ(入学前セミナー)、新入生及び在校生オリエンテーション、導入教育、実習前後教育、就職講座をフォローで実施し、専門職就職へのモチベーションを強化し、勤労観の養成に努めている。
	3-9-4 授業評価を実施しているか	3	授業アンケートを通して、授業評価を実施しており、受ける学生の視点と、行う講師の視点の2つを重視している。授業アンケートによって明らかになった授業改善点については、講師面談を通じて、担当講師へのフィードバックを行っている。	授業評価のアンケート内容は、下記の4区分16問+2問に独自設問、自由意見を加えた形式としている。 区分1)授業内容 5問 区分2)授業手法と教員の行動 5問 区分3)教育効果 3問 区分4)学生の行動 3問
	3-10 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	成績評価と単位認定の基準は、学則および学則施行細則によって明文化されており、教育指導要領及び学生便覧にしっかりと明記し、教職員や講師、学生に周知徹底している。また、それらに基づき学生指導・支援にあっている。	各科目について5段階評価を行っている。 2019年度生・2020年度生はA・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。 2021年度生はA・B・C・Dを合格とし、E・Fを不合格とする。 *科目の評価が不合格(59点以下)の対象者には再試験を行い、その評価は最高Dとする。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 資格取得の指導体制はあるか	3	取得目標資格について、教育指導要領及び学生便覧に明記し周知している。各学科における資格検定は100%合格を目標に早期対策を実施している。	滋慶学園グループのグループ力を活かし、学校、学科を超えて受験サポートを行う組織として国家試験対策センターを設置している。このセンターは合格率の向上を目的とし、様々な活動(eラーニングの運用、過去問題分析、オリジナルテキストの作成、模擬試験の作成・実施など)を行っている。 また個別フォローを行い、100%合格のための指導体制の確立に努めている。 2021年度歯科衛生士国家試験 【全国平均合格率:95.6% 全国平均新卒合格率:97.4%】 ・歯科衛生士学科Ⅰ部新卒合格率:100% ・歯科衛生士学科Ⅱ部新卒合格率:98.4% 2020年度視能訓練士国家試験 【全国平均:91.8% 全国平均新卒合格率:95.5%】 ・視能訓練士学科Ⅰ部新卒合格率:96.0% ・視能訓練士学科Ⅱ部新卒合格率:96.9%
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	学科の教育目標を達成するために、その分野のスペシャリストであると同時に、法で定められた要件を満たしていることを講師採用の基準に据えている。採用講師に対しては、初任者講師研修会を通して、授業運営上の留意点、成功事例、学校の理念、養成したい人物像等を共有し、コンセンサスを図っている。	講師との共有資料として、下記が挙げられる。 ①講師契約書 ②学年暦 ③時間割 ④教育指導要領 ⑤科目シラバス ⑥国家試験出題基準
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3	全教職員対象の研修・会議を定期的開催し、授業技術の向上に繋がる内容を取り入れている。かつ、オープン授業、授業アンケートを実施している。 また学園グループの研修制度も充実している。	オープン授業および授業アンケートの目的は共通して教育力の向上であり、各学科において評価の良い点、改善点をフィードバックする。授業アンケートは16問+2問を数値化し項目の課題と自由記述を各講師へフィードバックしている。 学園グループの研修は教職員カウンセリング研修(1次・2次)およびFD研修が実施されている。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3	事業計画の中に組織図、職務分掌などを明記し、毎年、それぞれの部署で組織役割表を作成して業務分担や責任体制を明確にしている。 また、授業アンケートの実施およびフィードバックに取り組んでいる。	各学科は、事業計画および組織役割表に基づき、年度目標達成に向けての業務を遂行している。 目標値として、入学生数、進級率、退学率、国家試験合格率、就職率等を設定している。	

3.0

・変化に伴い改善しながら対応している様感じた
・資格取得に向け、卒後フォローアップを行い、未資格者のフォロー、その後の管理、その結果を次の会議で示してほしい
・歯科衛生士学科Ⅰ部の国家試験合格100%は素晴らしいと思う。また、国家試験不合格者に対して卒業後も面倒をみていただけるようでありがたく思う
・細やかな配慮と具体的な対応策が考えられて運用されていることがわかる

4 教育成果 (豊島)	4-13 就職率の向上が図られているか	3	開校以来、就職希望者の内定率は100%を維持できている。また取得した資格や学んだ知識、習得した技術を活かせる現場への就職(専門職就職)も、95%以上の高い水準を維持することができている(99.5%)。キャリアセンターと教務スタッフが、資格を活かして働くことの社会的使命や社会人基礎力の重要性を、連携を図りながら継続して学生に伝えていくことが、重要な指導方針である。	就職率の向上を図るためのキャリアセンターの活動は、 ①入学希望者には実習・就職活動、そして卒業後の勤務に対する具体的なイメージを持ってもらう。 ②在校生に対して実習・就職支援(就職斡旋や求人開拓活動、実習先・アルバイト先訪問)を行う。 ③同窓生(卒業生)に対しては、勤務先訪問、スキルアップ講座の提供や再就職支援を実施する。 ④キャリアコンサルタントを配置して、勤労観の育成、キャリアプランの作成、具体的な就職試験対策を個別に指導している。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした教育成果が出ていると思う ・就職希望者の就職率100%、学校のフォローが適正に行われていたと実感した ・努力している。対策を継続して講じている点が評価できる ・教育の成果として達成度が高い。なお、中途退学者を出すことないように学生への支援に努めている志への実現への工夫が良い
	4-14 資格・免許の取得率の向上が図られているか	2	各学科で資格取得の目標を受験者全員合格と設定し、対策を立てて実行している。	2021年度歯科衛生士国家試験 【全国平均合格率:95.6% 全国平均新卒合格率:97.4%】 ・歯科衛生士学科Ⅰ部新卒合格率:100% ・歯科衛生士学科Ⅱ部新卒合格率:98.4% 2020年度視能訓練士国家試験 【全国平均:91.8% 全国平均新卒合格率:95.5%】 ・視能訓練士学科Ⅰ部新卒合格率:96.0% ・視能訓練士学科Ⅱ部新卒合格率:96.9% 両学科ともに模擬試験結果で合格に向けて危険層の補講を計画して、一定の成果を出した。2022年度はその実績を踏まえ計画・実行・振り返りを引き続き定期的に行う。		
	4-15 卒業生の社会的評価を把握しているか	3	卒業生の活躍が業界で評価されており、求人票や実習先の多さにも現れている。学校全体で求人倍率は12.6倍(2,548人分/202人)となっている。	母校への関心を高め、関りを深めていただくために、積極的な情報発信等をおこなうことで、信頼関係を構築している。その結果、卒業後の諸活動に関する実績等を把握することができている。また業界連携活動により、組織、地域等の社会的な評価について、フィードバックをいただき、その実績と評価を把握している。		
5 学生支援 (豊島)	5-16 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	就職等の進路支援は、年間目標ならびに年間行動計画を立てて実施している。全体指導に加えて、個別指導を行っている。キャリアセンターでは、業界の情報収集を徹底し、求人時期と就職時期(実習等のカリキュラムと連動する)を、マッチングさせる対応を強化している。	<ul style="list-style-type: none"> ・採用担当者を招いての学内説明会を実施。 ・業界への情報発信のため、キャリアセンター主催の業界向け勉強会の開催。 ・集団をみる視点で就職講座のフロー化 ・一人ひとりみる視点で担任とキャリアセンタースタッフのミーティングの実施。 ・国家資格キャリアコンサルタントの配置 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな支援を実施し、学生へのフォロー体制が整っていると感じた ・相談支援は大変充実していると感じる ・実習中の支援も重要と考え、それらの情報を次年度の実習前教育にどのように活かし、成果を上げているか示してほしい ・学生への精神面経済などに確かな対応策が講じられている ・慶生会クリニック・一人暮らしコンシェルジュなど運用援用が良く為されている
	5-17 退学率の低減が図られているか	2	各学科、各学年ごとに退学率の目標を設定し対策をたて実行している。又、学園グループ全体の退学理由傾向を分析し、学生の「学習意欲」と「精神面」の双方から支援の方向付けを検討する材料となる「キャリアサポートアンケート」を実施している。退学率の低減のため授業欠席者・長期欠席者・休学者の個別対応や長期休み前(ゴールデンウィーク・夏休み等)の対策、年2回の個人面談実施などに取り組んでいる。	<p>目標:3.9%【2021年度実績:中途退学率5.6%】※前年度実績:5.8%</p> <p>学校目標未達の要因は退学率目標を達成している学科がある一方で、退学者数が増加した学科もあった。2022年度も入学前教育から新入生オリエンテーション・授業の補講で不安軽減の取り組みを行っている。キャリアサポートアンケートの結果で「学習意欲」「精神面」で不安のある学生は専門カウンセラーと連携を図り、進路変更希望者には学園グループにて組織されている進路アドバイザーが対応し転校・転科に導いている(2021年度実績3名)。</p>		
	5-18 学生相談に関する体制を整備しているか 留学生に対する相談体制を整備しているか	3	学校内に「学生相談室」を設置していることで、①精神面②学費③健康面などの相談をいつでも受け入れる体制が整備され、有効に機能している。 留学生に対する相談体制を整備している。学内では事務手続きを中心とした担当、および就職、学習支援の担当を設置し、滋慶学園グループ内組織として留学生センターがあり、生活面等はセンターに所属しているスタッフ(外国人)が対応している。	学生相談室では専門のカウンセラーが対応にあっている。教職員全員に研修を実施。特に、カウンセリング研修では学園内組織(滋慶教育科学研究所)が主催する「JESC認定教員カウンセラー資格」を全員に受講させ、試験を実施することでカウンセリング技術の標準化を図っている。		
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3	入学前から入試事務局、学費担当者が一人ひとりの相談を受け、一人ひとりに合った経済的支援を一緒に考えている。保護者の相談も合わせて行っており、在学中も定期的な学費相談を実施している。経済的負担により進学を断念することのないよう、支援ができている。	<ul style="list-style-type: none"> 各種学費サポート制度を取り入れている。 【学校独自の学費サポート制度】 ・学費分納プラン 【公的支援制度】 ・日本学生支援機構奨学金制度 ・専門実践教育訓練給付金制度 		
	5-19-2 学生の健康管理を担う体制を整備しているか	3	滋慶学園グループ内の医療機関である「慶生会クリニック」が、学生の身体と精神面の健康管理をしており、学生の健康管理を担う組織体制は確立されている。安心して受診できる体制が、高いレベルで機能している。また年1回の健康診断や2次検診、インフルエンザ予防接種、B型肝炎ワクチン接種等を実施し、細かくフォローしている。	精神面の健康管理については、「滋慶トータルサポートセンター」との協同で本校に「学生相談室」を設置し、学生生活全般における不安や悩みの相談に対応している。		
	5-19-3 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	カリキュラムと連携しながら、課外活動の支援体制を地域振興ボランティアへの参加を中心に整備している。地域と共に発展していく学校として、地元の行事にも積極的に参加を毎年計画している。	過去、各種地域イベントに参加実績がある。2021年度はコロナ禍のために地域行事が中止となっている。その他の2021年度の地域ボランティア実績は、「10社会貢献」の項を参照。		
	5-19-4 学生寮の設置など生活環境への支援体制を整備しているか	3	提携不動産会社などと連携を図り、生活環境の改善に努めて支援体制を整備している。また、カウンセラーを学内、学外に配置し、悩みがある場合に速やかに相談ができる環境を整えている。一人暮らしをする学生支援のために「一人暮らしコンシェルジュ」を配置し、一人暮らしを初めてする学生の相談役となっている。	一人暮らしの学生支援は、コンシェルジュと協働して担任がその調整役となっている。 提携先: minimini高円寺店、野口不動産、東仁学生会館、共立メンテナンス等		
	5-20 保護者との連携体制を構築しているか	3	保護者との連携体制を構築している。出席状況その他で問題が見られた場合には、保護者と連絡を取り、状況の共有を図っている。必要に応じ、保護者と学生を交えた三者面談も行っている。また、学期・クォーター毎に成績の発送を行っている。これを通じて定期的に学習進捗の確認を行ってもらえるような体制を整えている。	2021年度は保護者会がオンラインでの実施となっている。保護者との連携の事例として、国家試験に関する保護者面談等を実施し、報告を行ってきた。		
5-21 卒業生への支援体制を整備しているか 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	卒業生への支援体制は整備されている。卒業生のキャリア開発は母校の役割、責任として捉えている。業界から恒常的な信頼を得るためにも、卒業生の活躍は不可欠である。そのための一助となるよう、同窓会活動を支援し、交流によるネットワーク拡大を懇親会、勉強会等で図ってきた。卒業生勉強会や卒業生講師制度を整えている。 社会人のニーズである学費支援を中心に、教育環境を整備している。専門実践教育訓練給付金講座の認定、働きながら学べる「ワーク&スタディシステム」の構築を行ってきた。	<p>社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備を推進するために、ライフスタイルにあわせて学び続ける下記の制度を導入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視能訓練士学科Ⅱ部では大学等で履修した単位の一部を、入学要件の単位数に換算している。 ・4学科で専門実践教育訓練給付金の指定講座(5-19-1参照)となっており、学費負担の軽減を図っている(歯科衛生士学科Ⅰ部、歯科衛生士学科Ⅱ部、視能訓練士学科Ⅱ部(2019年度より)、医療事務II学科(2020年度より)) 			

6 教育環境 (保科)	6-22 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	施設・設備・教育用具等を必要性に対応して整備できている。実習授業に力を入れている本校として、学内実習室は「現場を再現する」という視点で整備を行っている。この実習室で授業を行ってから現場実習に臨むので、スムーズに実習をスタートさせることができる。図書室や実習室などの学習支援施設をはじめ、手洗いなどの施設も十分に整っている。実習室の機器等に関しては点検・整備などの対応も適切に行っており、事業計画によって改築・改修・更新計画をしっかりと立てている。学習環境の整備として4階学生ホールを設置した。学生が休み時間、放課後等自由に利用できることでリフレッシュや相互支援の関係性が今までより強化されている。通学中や自宅など自分の好きな時間に学習できるe-ラーニングシステムを導入している。	5階実習室では、歯科治療ユニットが13台配置されている。よって実習授業では、学生3人で1台のユニットを使用している。これにより、歯科衛生士、アシスタント、患者のそれぞれを体験する授業においては、常にいずれかの役を体験ができるようになっている。結果として高い教育効果を得ることとなっている。6階ファントム実習室では、歯科予防処置や診療補助の授業をより実践的に学ぶことができる環境を整えている。また、2017年度より開講した視能訓練士学科の地下実習室では、眼科外来で使用されるほとんどの機器を揃えており、より実践的な教育を行うことで高い学習効果が得られている。2020年度よりロイノート、Zoom等を活用し遠隔授業をスムーズに実施している。遠隔授業とその授業を録画し、いつでもどこでも視聴できる環境を構築した結果、出席率の向上、解剖学等のいくつかの基礎科目の平均点がアップした。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に対応した環境を整えていると思う ・遠隔授業を取り入れ、臨床実習にも取組めたことは学生の意欲向上にもつながったと思う ・設備器具の準備が先進的である ・コロナ対策がしっかり考えられている
	6-23 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	学外実習(歯科衛生士学科:140施設・視能訓練士学科:50施設)・インターンシップ・海外研修の実施は、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」を高いレベルで具現化しており、実施体制を構築している。各学科の養成目的・教育目標に照らしてその教育効果は極めて高いと考えており、その体制ができあがっている。	2021年度も2020年度に引き続き、コロナ禍の影響により海外研修は実施できず。臨地・臨床実習においては、文部科学省・厚生労働省の指導に従いながら、各実習施設の協力、開始時期の変更などを行い無事実施することができた。		
	6-24 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	防災組織を整備し、かつ適切に運用できている。毎年4月、教職員、学生への防災訓練を実施、地震や火災の際の避難経路を常に確認するなど、体制整備とチェックを重視している。現状、災害時の最低限の準備と教職員、学生への動機付けが図られている。 学内の安全管理体制を整備し、適切に運用している。救急時における知識の習得と意識付けは、AEDや心肺蘇生法の講習会を通じて、十分に行われている。入り口を無人にしないようシフトを組んで受付に常駐、および午後から夜間にかけて専属の担当を置いている。また、危険物の管理に関しても同様である。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報システムを設置し、非常時に備えている。 ・安否確認システムを構築し、万の際の学生の安否確認の一助としている。 ・サバイバルキットを全学生数分+α備えており、万が一の場合の3日間分の食料、水、防寒への対策を立てている。 ・スタッフ用ヘルメットの十分な数を備えている。 ・第1次避難所を杉並第六小学校、第2次避難所を善福寺川緑地公園としている ・コロナ感染拡大防止のため、各教室に飛沫防止カーテンと換気のための網戸、教員室・図書室等の共有部分にはパーティションを設置。また、入口に検温システム、各階廊下に消毒液を設置し、来校型の授業に対しても策を講じた。 ・設備面だけでなく、原則として講義に関してはオンライン、実習に関しては分散型登校とし、学内において安全体制を維持することに努めた。 		
7 学生の募集と受け入れ (保科)	7-25 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	3	本校は東京都専修学校各種学校協会に加盟し、同協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。また、募集活動は学園グループ全体の考え方である「入学前教育」であると同時に「キャリア(意識)形成段階」という点を踏まえ、志望者の状態に合わせたカウンセリングが実施できるように教職員・学生スタッフに対して研修を実施している。受験生にとって職業の正しい理解や医療人としての適性の確認ができるよう、数種類の体験授業や実技特待生講座、授業見学等を実施した。コロナ感染拡大の影響でオープンキャンパスに来校できない受験生に対しては、オンライン(説明会のオンデマンド配信、LIVE体験授業、ZOOM個別相談など)のコンテンツを提供した。	2021年度学生募集 目標(入学定員)285名に対して実績251名	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の状況だが、できるだけ目標人数の学生が入学するよう色々な募集方法を実施してほしい ・この学校に入学して希望先に就職できた、就職先で充実した仕事をしているなどの体験談の紹介なども効果的なのではないか ・医療等で働く適正を考慮し、入学前教育にも活かしている ・今後、希望者は増えていくのでは?その際、就職活動等において競争激化することも考えられるため、更なる学生のレベルアップが求められるのではないかと ・これからも続く少子化の中で定員285名を見直すことも検討されてはどうか? ・入学前の受験生に対する紹介が丁寧な仕組みとなっている ・5年単位の長期計画を更新する体制は堅実そのものである
	7-26 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	入学選考に関しては、アドミッションポリシー・選考方法を募集要項に明示し、決められた日程に実施している。入学試験後は、学科長以上で構成される「選考会議」により、学則および募集要項に明記している基準に基づいて合格を確定している。 面接結果、書類審査の結果を踏まえ、将来、医療・歯科医療・薬業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。また、学科ごとの各種データおよび入学者の予測数値等は、広報会議や運営会議で随時確認し、5年単位の長期計画を毎年作成するとともに、授業改善や事業計画作成に活用している。	将来の希望分野への適性を正しく見極めるため、面接の比重を大きくしている。結果として、学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。		
	7-27 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	3	収入と支出が適正かをチェックし、その上で学費の見直しを毎年行っている。また、学納金については東京都専修学校各種学校協会のルールを基準としているため、適正かつ妥当なものである。入学辞退者に対する対応としては、募集要項に返還についての取扱方法を記載し、入学辞退者に対する対応を適正に行っている。			

8 財務 (篠田)	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3	右記にあるようなチェックならびに評価を行っている。結果として債務超過や資金不足に陥ったりはしていない。よって、中長期的に財務基盤、学校運営は安定しているといえる。	以下のチェック機能がある。 事業計画(財務計画・収支予算書) 1. 滋慶学園グループ本部(以下本部)によるチェックと理事会・評議員会による承認 2. 四半期ごとの本部によるチェック 3. 修正予算の作成:本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 4. 計算書類の作成と本部によるチェック 5. 監事および公認会計士による監査 6. 計算書類、事業報告書の理事会・評議員会による承認	3.0	・適正に運営していると思う ・経理面のチェックの仕組みが实际的で堅実であるのは大変すばらしい
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3	特に財務数値に関しては、財務専門の部門が右記のようなタイミングで様々な分析・計画等を行い、適切な学校運営ができるように管理を実施している。			
	8-29 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	予算編成の方法については教育目標を踏まえた上で短期的と中長期的それぞれの視点に立ち、5年先を見越し、中長期的事業計画を毎年立てその中で収支計画を作成しているが、学校、滋慶学園グループ本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に即した予算編成になっている。 また、運営会議の中で予算のチェックも実施している。「予算書=決算書」(計画の時点で精度の高い予算を立てるといふ考え)という方針の下、執行している。	「当初予算」→「四半期予算・実績対比」→「修正予算」→「決算」という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特長として挙げられる。 当初予算の基となる「学生数目標」と「学生数実績」との差異が生じないよう、精度の高い目標(予算)設定を心掛けている。		
	8-30 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けている。	本校は補助金対象校ではないが、「公認会計士による監査」を受けている。		
	8-31 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	財務公開体制が整備されている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後も、いかなる法改正にも迅速に対応していくことができる組織体制を維持している。	財務情報公開規程」および「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している		
9 法令等の遵守 (保科)	9-32 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3	監事監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査がなされている。 法令や設置基準の遵守に対する方針が文章化され、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完了している。 また、教職員に対する法令や設置基準の遵守に関する教育・研修は、学校責任者と実務担当者でプログラムを構築し、実施している。	法改正に即応し、迅速に対応している。	3.0	・改正される制度や法律にしっかりと対応していると思う ・専修学校設置基準に基づき適正に行われている ・学校の公開性が顕著で、しかも個人に対しても情報管理が良く為されている
	9-33 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	個人情報保護の体制は整備されている。 外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年個人情報保護管理状況についての検定を受け、ライセンスを更新し、ホームページ上に明記している。	教職員・学生全員がITリテラシー(通信・ネットワーク・セキュリティなど、ITにひも付く要素を理解し、自分の目的に合わせて活用できる能力)講習を毎年受講している。		
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	私立専門学校等評価研究機関に加盟しており、その基準をもとに毎年継続して自己点検・自己評価を行っている。 学校関係者評価委員会については、下の9-34-3に記載する。			
	9-34-2 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	平成26年度より評価結果を毎年公開している。			
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	平成25年度より学校関係者評価委員会を立ち上げ、適切な委員の選定と委員会の開催に取り組んでいる。	学校関係者評価委員会:2021年6月27日開催		
	9-34-4 学校関係者評価結果を公開しているか	3	平成26年度より評価結果を毎年公開している。			
	9-35 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	HP等で教育情報に関する情報を公開している。公開内容は定期的に精査・更新している。			
10 社会貢献 (星野)	10-36-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	社会・環境問題の取り組みは2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)の目標達成に寄与すべく取り組みを強化している。他方、コロナ禍にて急速に進んだICT化を活用し、教育成果物をデジタル媒体として活用することを試みている。	<2021年度 実績> ・節電に対する各種取り組み[期間延長(5月1日～10月31日)のクールビズ活動、エレベータの使用頻度を抑える2アップ3ダウン運動の推進、教室・職員室の空調機の温度設定(夏季:28度、冬季20度)の徹底、夜間照明の消灯等] ・歯科衛生士学科 I 部2年:学生が作成した歯科保健行動を促す動画を高円寺学園へ提供	3.0	・今後の為にボランティアや社会との連携はとても大切だと思う。学校も支援する体制がとられていると思う ・海外における制度等オンラインにて学ぶことは重要かつ色々な臨床現場の意見や行動を学ぶ機会となりとても良い ・SDGsに対応していることは現今の求めに即応している ・地域への支援が有難い ・高円寺特有の行事への配慮と参加の姿勢です
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3	コロナ禍の影響により実際に海外渡航しての交流は実施できなかったが、オンラインにて海外と中継をして相互コミュニケーションが可能な状況下で教育プログラムを実施した。	<2021年度 留学生受入実績> ・歯科衛生士学科 I 部:3名(中国) ・視能訓練士学科 I 部:2名(中国)、1名(韓国) <2021年度 実績> ・歯科衛生士学科 I 部・II 部2年:「スウェーデンにおける歯科の実際」講演 「スウェーデンの歯科診療所」オンライン視察		
	10-37 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	コロナ禍の中ではあったが、地域の公衆衛生の場にて、学生がボランティア参加した。	<2021年度 地域ボランティア実績> ・視能訓練士学科 I 部1.2年 20名:杉並区就学時健診 ・歯科衛生士学科 I 部1年 6名:よい歯健口フェス		